

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植における予後予測因子の後方視的検討
	研究目的	骨髄異形成症候群(MDS)に対し同種造血幹細胞移植を施行した場合の予後を予測する明確なシステムを確立するために、横浜市立大学附属病院とその関連施設で施行された、MDS に対する同種造血幹細胞移植において、治療成績や生命予後を調査、確認し、スコアリングシステムを検討していきます。
	研究期間	西暦 2017 年 6 月 15 日 ~ 西暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(データベース) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	金森 平和
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	血液内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	横浜市立大学附属病院 血液・リウマチ・感染症内科 萩原 真紀